

## 心臓血管外科

### 《概要》

近年、循環器疾患の治療を要する患者様は、高齢化、他疾患の併存などにより、ますますハイリスクとなっています。こういった患者様に質の高い医療を提供するには、患者様、かかりつけの先生方(病診・病病連携)、専門施設が協力し、地域に根ざした診療を行っていくことが大切であると考えております。心臓血管外科は、循環器内科、その他の部門との協同により、泉州地域の心臓病診療の中核的な役割を担う「心臓センター」を運営しています。心臓センターは24時間体制で診療を行っており、あらゆる循環器急性疾患にも対応しています。また、隣接する「泉州救命救急センター」と連携し、高度救急医療における循環器疾患の治療も行っています。心臓血管外科では、麻酔科、中央手術室、中央臨床工学室の充実した体制により、急性大動脈解離や大動脈瘤破裂、心筋梗塞合併症(心室中隔穿孔、心破裂、乳頭筋断裂など)に対する緊急手術が随時行えるようになっていきます。術後はICU/CCU及び心臓専門病棟にて一連の術後管理を行い、心臓リハビリテーションプログラムにより早期のADL改善を支援しています。

薬剤溶出性冠動脈ステントの登場により、虚血性心疾患に対するカテーテル治療の成績は一層向上し、加えて薬物治療による内科的治療の多くのエビデンスが報告されるようになりました。近年、心臓手術の中心であった冠動脈バイパス手術は減少傾向にあります。これに対し、動脈硬化性大動脈弁狭窄症や変性性僧帽弁閉鎖不全症を中心とした弁膜症、大動脈瘤に対する外科治療が増加傾向にあります。僧帽弁修復術や大動脈瘤に対するカテーテル治療など、質が高く、お体に優しい治療が求められるようになっていきます。心臓血管外科では、より質の高い外科治療を目標とし、地域に貢献できるよう努力しております。また、大阪大学心臓血管外科と連携し、心筋症などの重症心不全に対する治療(補助心臓、心臓移植、再生医療)、カテーテルによる弁膜症治療など高度な治療にも対応しています。

### 【体にやさしい、「低侵襲治療」】

2010年9月より、当院でも大動脈瘤に対するカテーテル治療(ステントグラフト治療)を導入しました。大阪大学心臓血管外科、大動脈チームのスタッフを招聘し、治療を行っています。

### 《実績》 2010年1月1日～12月31日

心臓血管外科では、冠動脈疾患、心臓弁膜症、成人先天性心疾患、大動脈瘤、末梢動脈閉塞、静脈瘤などに対する外科治療を行っています。冠動脈バイパス術、弁膜症手術、胸部大動脈を含む心臓手術数は、108件でした。毎年100件前後の心臓手術を行っています。

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
総手術数	199	185	201	189	169
心臓手術数	104	78	105	96	108

## 《業績》

### (1) 学会研究会報告 (2010.4～2011.3)

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	ASD 術後遠隔期の重症肺高血圧に対するミルリノンの使用経験	松江 一	第27回中之島心不全カンファレンス(大阪)	2010.4.16
2	坐骨動脈遺残に合併した血栓閉塞及び動脈瘤に対する当科の治療方針	西川大陸	第38回日本血管外科学会総会(埼玉)	2010.5.22
3	心臓血管外科最新の治療と市立泉佐野病院での現況～地域との密接な連携と大阪大学との連携による高度医療を目指して	松江 一	第6回りんくう汲泉セミナー(大阪)	2010.6.9
4	心臓外科手術 up to date ～三次元心エコー・心臓CTの応用・術後投薬の役割～	松江 一	南大阪循環器フォーラム(大阪)	2010.6.19
5	地域医療における心臓血管外科の役割～循環器内科・地域の先生方と連携した質の高い医療を目指して～	松江 一	循環器疾患病診連携勉強会(大阪)	2010.7.15
6	心臓大血管手術における高圧系 active bleeding への回答: Sheet and Glue Method の有効性	松江 一	第63回日本胸部外科学会定期学術集会ランチョンセミナー(大阪)	2010.10.27
7	りんくう総合医療センター心臓センター(内科・外科)最新の取り組み	松江 一	りんくう循環器ネットワーク研究会(大阪)	2010.11.20
8	当院における塩酸ランジオロールの使用経験	樫山紀幸	大阪大学心臓血管外科YIA(大阪)	2010.12.12

### (2) 論文発表 (2010.4～2011.3)

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名
1	特発性上行大動脈破裂の緊急手術例	樫山紀幸	日本心臓血管外科学会誌
2	Serious acute coronary thrombosis associated with heparin-induced thrombocytopenia in off-pump coronary artery bypass grafting.	松江 一	Interactive CardioVascular and Thoracic Surgery 2010